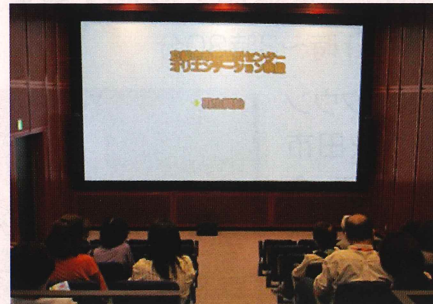


人権協地区委員会活動の紹介

片山地区委員会活動報告「京都市市民防災センター体験記」



6月7日(木)に、人権協片山地区委員会と片山地区連合自治会、片山地区公民館との共同開催で、片山地区「現地研修」を実施しました。



オリエンテーション



防災体験

京都市市民防災センターをメインテーマとし、梅雨が目前の晴天の中で21名の方が参加されました。

災害時に不可欠な防災知識や行動を『見る』『聴く』『触れる』『感じる』ことで学べる京都市市民防災センターは、名神高速京都南インターの出口からほど近くににあります。選択出来る体験プログラムと自由体験コーナーに分かれ、それぞれに豊富なコーナーが設けられていました。

「強風体験」は、風速30メートルの風が、いかに強力な破壊力を持っているのかを、巨大扇風機から発せられる風で体感できました。「避難体験」は、擬似的な煙に覆われる中で誘導灯を探しながら、迷路のような通路をくぐり抜けなければならないという恐怖感があるものでした。「4Dシアター 迫りくる地下街の恐怖」は、特殊な眼鏡をかけるとスクリーンに映し出される映像が3次元になり、座席も映像に合わせて振動し、迫力を増してくれました。

時間の都合上、3つの体験プログラムと自由体験コーナーにしか行くことが出来ませんでしたが、下見の時に一番感動した「地震体験」(当日はメンテナンス中)、やっておきたかった「消火体験」、見ておきたかった「映像体験」、もっと他にも試してみたかった自由体験コーナーがありました。

現実感あふれるプログラムを通して、命の大切さを参加者の方々と共に体験することができ、人と人のつながりを大切に思える良い機会となりました。

片山地区委員会 代表 津田 郁夫 さん

山一地区委員会活動報告 「吹田・健都を歩く」



桜咲く4月、JR岸辺駅から吹田市交流活動館等をめぐる6kmを30名で歩きながら学びました。

「吹田市交流活動館」は2002年施行の館条例に基づき、人権啓発や地域交流に取り組む出会い・ふれあいの場として運営されている施設です。また、吹田市きしべ地域人権協会の相談員による相談事業も行っています。きしべ地域の住民のみならず、他地域の住民も積極的に人権啓発学習や市民交流の場として利用するようになればいいとの思いで、当施設を拠点にした山一地区委員会の活動を行うことにしました。

吹田市交流活動館で、第1部は、職員による施設の見学・説明と、吹田市きしべ地域人権協会の古本義信さんによるお話をお聞きしました。きしべ地域の歴史や人権を考える視点をわかりやすく学ぶことができました。第2部は、吹田市健康医療部北大阪健康医療都市推進室職員による北大阪健康医療都市「健都」のお話を聞きました。その後、隣接するオープンまもない「健都レールサイド公園」の解説と実際に健康遊具を使った運動体験も行いました。

「人権」と「健康」の二つのテーマで「きしべの歴史・現在・未来」を楽しく感じることができた一日となりました。

山一地区委員会 代表 桑原 喜幸 さん



当日の様子

今年は、1948年(昭和23年)12月10日、国連において「世界人権宣言」が採択されて70年目にあたります。

吹田市 人権協だよ



じんけんネット吹田

No. 45

平成30年(2018年)10月

— 2018 — 人権フェスティバル

～地域から 心をつなぐ 人権の輪～

日時

12月9日(日)

午後1時30分～4時00分
(開場 午後1時)

場所

吹田市文化会館(メシアター) 中ホール(阪急吹田駅5分)



講演

「あきらめない心」

講師

伊藤 真波さん (日本初義手の看護師、北京・ロンドンパラリンピック競泳日本代表)

日本で初めての義手の看護師。静岡で看護学生として夢に向かって20歳のとき、好きで乗っていた中型バイクで交通事故。その後、「看護師になるための義手」を作り、単身、静岡から神戸の病院へ。前例がないと、どの病院でも断られたが、兵庫県立総合リハビリテーションセンターの先生のおかげで、看護師として必要な動作ができる「看護師専用の義手」を一緒に作っていくことができた。見た目は良くないけど自身にとっては一番の相棒。今では、肩甲骨を動かして、フックを開閉させ注射や点滴、何でもこなす。リハビリの最中、車椅子バスケの選手が転んでも起き上がって前に進むという姿を見て、前を向いた。そんなときに出会ったのが水泳。そこから水泳人生がスタートした。パラリンピック代表を目指すため勤務時間の短縮を願い出ると、職場は午後からプールに送り出してくれた。義手の看護師を雇うだけでも大変なのに、お金で変えられない時間を与えてくれた。痛くてしょうがなく、未来が真っ暗だったあの頃。たくさんの人に支えられ逃げ出さなくて良かった。パラリンピックを通じて知った『負けを知ること』『泣くこと』も大切なんだということを、伝えていくため、全国で講演を行う。



公演

「イーリアンパイプスで奏でるアイリッシュ・ケルトの調べ」

出演

金子 鉄心さん (笛奏者: イーリアンパイプス、ティン・ホイッスル、ケーナ、尺八 他)



1986年、ロックバンド『おかげ様ブラザーズ』のサクソ奏者としてメジャーデビュー。その後アイリッシュ・ケルトなどのヨーロッパの大衆音楽の影響を受け、1998年、ギタリストの押尾コータロー氏等と共にアイリッシュ&ミュージック・バンド、『オオサカ・エグザイル』を結成。現在、様々な管楽器を用いて、レコーディングや舞台の音楽制作を手掛ける。欧州音楽座・韃座(ふいござ) 主宰。

2018市民ひゅーまんセミナー

9月2日(日) 午前10:00～11:30

参加者: 87名

子どもたちをみんなで支える社会のために

講演「子どもたちの心の声を聴き続けて」

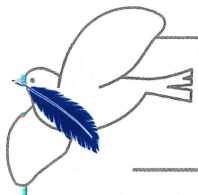
講師: チャイルドラインすいたスタッフ(代表 岡本祥子さん ほか)

「チャイルドライン」は、全国共通のフリーダイヤルで、18歳までの子どもがかけられる子ども専用電話です。1986年にイギリスで始まり、日本では72か所の拠点があります。「チャイルドラインすいた」は、2014年から、子育て広場「こらぼれチップス」の事業の一つとして活動しています。「困っているとき」「悩んでいるとき」「うれしいとき」「なんとなく誰かと話したいとき」などに、子どもたちは電話をかけてきます。

講演でその活動の様子をお話いただきました。かけた子どものできるだけ近いところにつながる仕組みですが、電話は鳴りっぱなしの状況で、繰り返し利用する子もいるということです。それは、「年齢も名前も聞かない。説教やアドバイスもしない。子どもたち自らが問題を解決していく力を信じてこどもに寄り添うようにしている。」という思いが子どもたちに伝わっているからではないでしょうか。子どもたちにとってチャイルドラインは、「いいこともわるいことも話せる心の居場所」になっています。

「見ず知らずの人に電話をして、それで解決になるのか」と、疑問を投げかける人もいます。しかし、今の社会は両親とも働いている家庭が多く、家にいるときもゆっくり子どもの話を聞く余裕がない親もいるかと思います。「子どもの話を聞いていない」と親たちを責めることはせずに「忙しい時代、社会全体で子どもたちを支えることはとても大切」、そんな思いを共有できるイベントでした。





「吹田市立平和祈念資料館」を訪ねて

「平和祈念資料館」をご存知ですか？

恒久平和は、人類共通の願いです。

平和なくして文化的生活の向上も、人権意識の高揚もありえないでしょう。

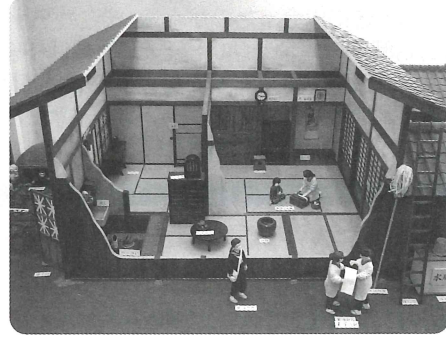
平和祈念資料館は、戦争の惨禍及び平和の尊さを後世に伝えるとともに、平和に対する市民の意識の高揚を図り、平和で明るく住みよい社会を実現するための施設です。

平和祈念資料館が千里ニュータウンプラザに移転して6年が経ちます。戦時中の展示品、戦争と平和についての書籍が沢山あるだけでなく、40人を収容できるミニシアターまで常設し「平和」を考える施設として身近にあります。

館内の案内

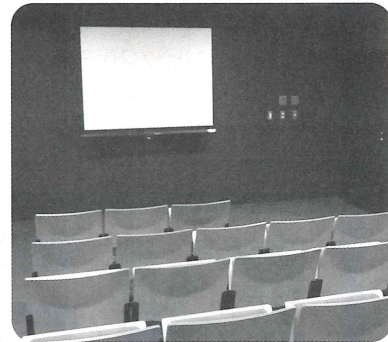
展示コーナー

戦時中の国民生活や軍隊に関する実物資料、写真パネルのほか、生活再現展示(ジオラマ)があります。常設展のほか、年1回企画展も開催しています。



映像コーナー

40人が収容できるミニシアターです。平和映画会などを開催しています。



図書コーナー

4,000冊を超える「平和」に関する書籍を所蔵しています。閲覧のほか、原則、吹田市内に在住・在勤・在学の方は借りることもできます。



視聴覚コーナー

「戦争」「平和」に関する記録映画、劇映画、アニメなどの個人視聴ができます。

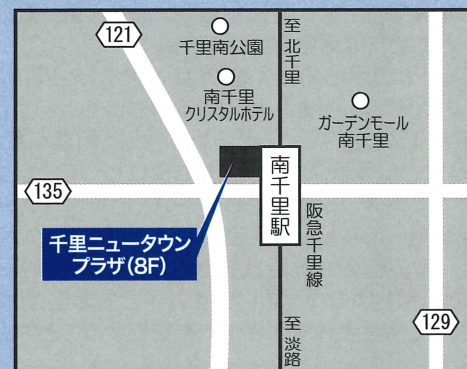
吹田市立平和祈念資料館

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目2番1号

千里ニュータウンプラザ 8階

【開館時間】午前10時～午後6時【電話番号】06-6873-7793

【休館日】月曜日、祝日(月曜に重なる場合は翌日も)、年末年始



平和に関するイベントの開催



30年度企画展

薄れゆく引き揚げの記憶

～「おかえりなさい」の港・舞鶴～

舞鶴引揚記念館収蔵資料の展示(7月24日～8月19日)と記念館館長の講演(7月28日)などを開催しました。

(参加者のこえ)

貴重な資料やお話から、抑留・引き揚げがどんなに過酷で悲惨なものであったかを知ることができました。



団体見学

※事前予約要
詳細は資料館へお問い合わせください。

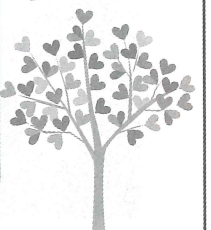
<30年度活用例>

西山田地区委員会

吹田市立平和祈念資料館で映画を観よう

8月17日(金) 午後1時～3時30分

南千里、千里ニュータウンプラザ8階にある吹田市立平和祈念資料館で、企画展『薄れゆく引き揚げの記憶』を見学し、映画「命のビザ」を鑑賞しました。



取材後記



折り鶴モビール作り

取材時に平和祈念資料館では、薄れゆく引き揚げの記憶～「おかえりなさい」の港・舞鶴～の特別展が開催されており、ユネスコ世界記憶遺産登録資料のレプリカを含むシベリアでの厳しい生活描写や、待ち続ける家族の思いがあふれる貴重な展示を見学させて頂きました。戦争の記録・平和の大切さを伝える常設展示だけでなく、色々な企画に取り組まれています。厳選された映画会・子ども向けの平和学習・折り鶴のモビール作り等々、職員がたのご尽力の賜と感じました。図書館にない貴重な書籍もあり、早速借用させて頂きました。南千里へお出かけの際、地域学習の一環に、是非利用していただけたらと思います。

広報委員会

あなたも人権啓発推進委員になりませんか！

人権啓発を目的に、各地区でいろいろな活動が行われています。あなたも人権啓発推進委員になって、一緒に活動しませんか。下記の人権協事務局までお問合せください。

発行/吹田市人権啓発推進協議会 事務局/吹田市 市民部 人権平和室内 〒564-8550 吹田市泉町1-3-40
電話 06-6384-1539 FAX 06-6368-7345
E-mail suitajinken@wi.kualnet.jp